



北デジ機構 通信

第2号 2025年4月発行



一般社団法人
北広島デジタル田園開発機構

桜の花も満開を迎え本格的な春の訪れを感じる季節となりました。皆さまにはご健勝のことと存じます。さて、今回は「源流米今吉田」に関する取り組み状況、最新のニュースなどをお届けさせていただきます。

京都の米老舗料亭

八代目儀兵衛様が「今吉田 源流米」を視察

とても高い評価をいただきました！

北広島町の紹介で3月5日に今吉田に来られ、源流米の生産者及び社団法人北デジ機構との意見交換を行いました。

今吉田地区は、100%ため池の水を用いて生産している事や、お米グランプリに連続入賞しているなど、地域全体をあげてブランド米化を推進していることなどをPRし、今吉田産のお米に大変興味を持っていただきました。

お米の味や品質、そして生産地にこだわりがあるとのことで、後日会社での実食評価した後に連絡をいただくことになりました。



意見交換会の様子

★実食評価結果

「源流米今吉田」のコシヒカリは、品質、味、風味、そして地域の熱意があり、**合格**をいただきました！

その上、ぜひ2025年産の今吉田産コシヒカリを500袋/30kg (15,000kg) 買わせていただきたいとの要望をいただきました。

はちだいめぎへえ ＜八代目儀兵衛とは＞

- 本社 京都府
- 創業 1878年江戸時代（約240年）
2008年八代目義兵設立
- 販売 京都祇園、東京銀座に米料亭運営
お米、お米関連商品の監修、販売
ミシュランガイド三ツ星店への納品
- こだわり お米本来のおいしさを引き出し、
本当に美味しいお米の追求、提供
- 提携 セブンイレブン おにぎりを監修
日立 炊飯器開発監修
ヤンマー 美味しいお米価値評価支援
滋賀県 近江米新品種プロモーション
ほか多数



八代目儀兵衛HP



京都祇園店



東京銀座店

“源流米今吉田” を「今吉田活性化」の起爆剤にしたい！

2022年から、源流米今吉田のブランド化に取り組んで販路を拡大し、生産農家の所得向上を目指し種々取組を行ってきました。

この今吉田のお米プロジェクトの熱意に北広島町が賛同していただき、「八代目儀兵衛」様をご紹介いただきました。

八代目儀兵衛様からは、高い評価をいただき、この度、取引開始の運びとなりました。

ただ、安定した生産と品質、数量、継続を求められています。

この機会に、今吉田の地域ブランド力を高める第一歩として「八代目儀兵衛」とコラボレーションの取組をしたいと思っております。

全日本お米グランプリin北広島町において 今吉田産のお米が3年連続入賞

これまでの受賞者（敬称略）

第一回	2022年	準グランプリ	隅田 英治
第二回	2023年	銀賞	向井 大士 佐々木 正 上野 敬三
第三回	2024年	金賞	上野 敬三

◆コシヒカリを一袋でも

譲ってください！！

今吉田を元気にするために
使わせていただきます！！

・八代目儀兵衛の要望数量、ふるさと納税など、これまで買っていた消費者等へ提供できるだけの数量を確保したいと考えておりますので御協力いただければ幸いです。

（JAの買取価格より高く買わせていただきます）

【目標確保数量（袋/30kg）】

- ・2025年産米 数量 500袋
- ・2026年産米 数量 700袋

■2024年産米の販売実績

購入数量 300袋

販売先

- ・北広島町ふるさと納税
- ・道の駅での販売
- ・地元・個人への販売
- ・自動販売機での販売
- ・米販売業者への卸販売

3月末時点の在庫18袋

今吉田のブランド力が高まると！！

お米が高く売れることにより

- ・耕作放棄地の減少
- ・農地集約など生産力の向上
- ・所得の向上
- ・担い手不足解消

I・Uターンで農業後継者増える

- ・源流米今吉田を食べたいファンが増える
- ・お米食提供の店舗展開
- ・訪問者が増え、今吉田が元気になる

行ってみたい！住んでみたい！

今吉田となる！

